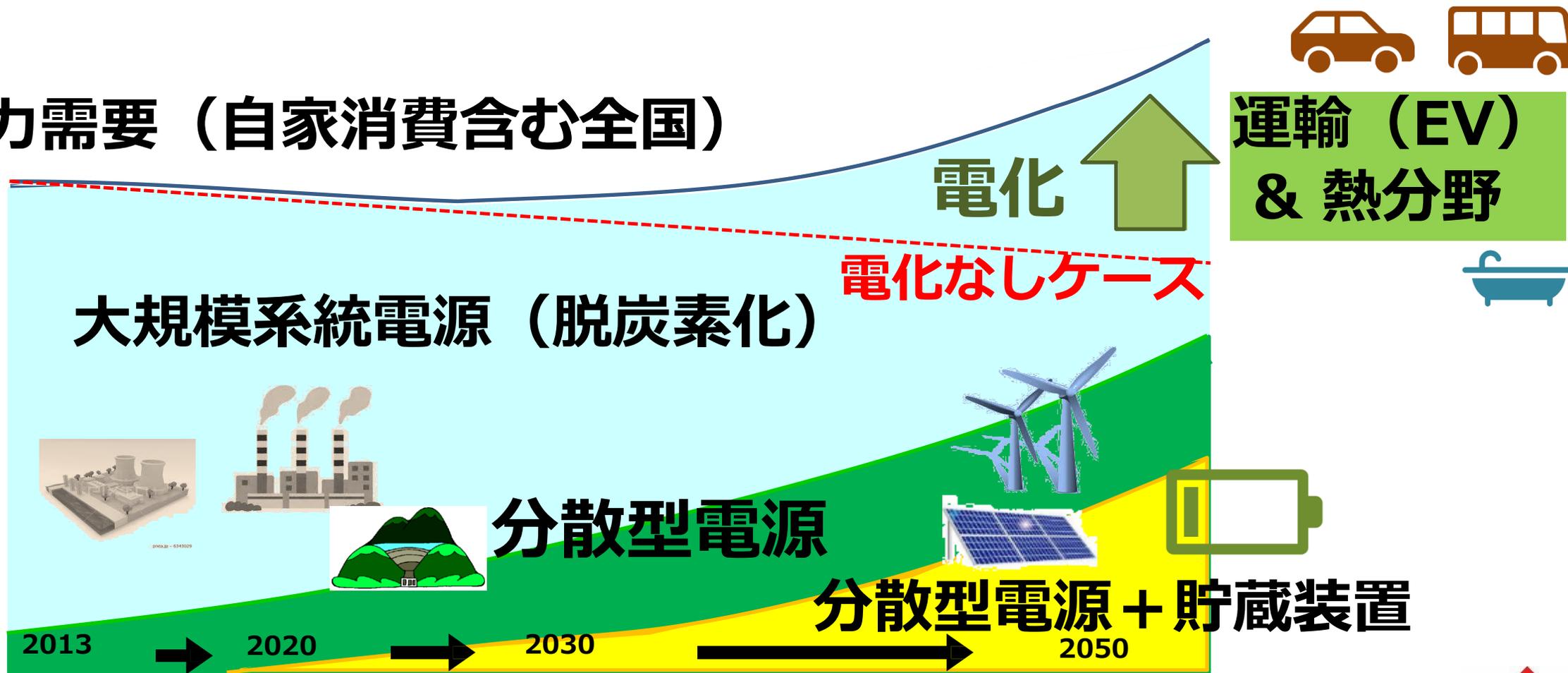
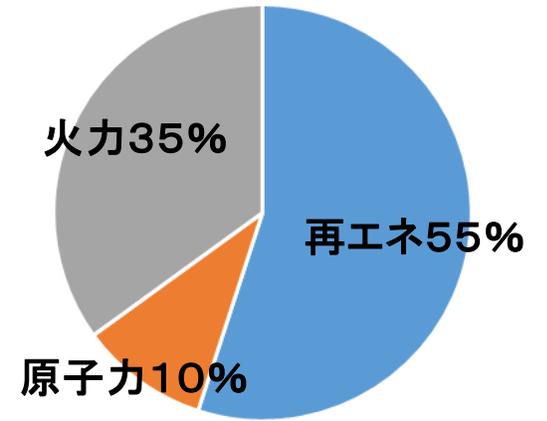
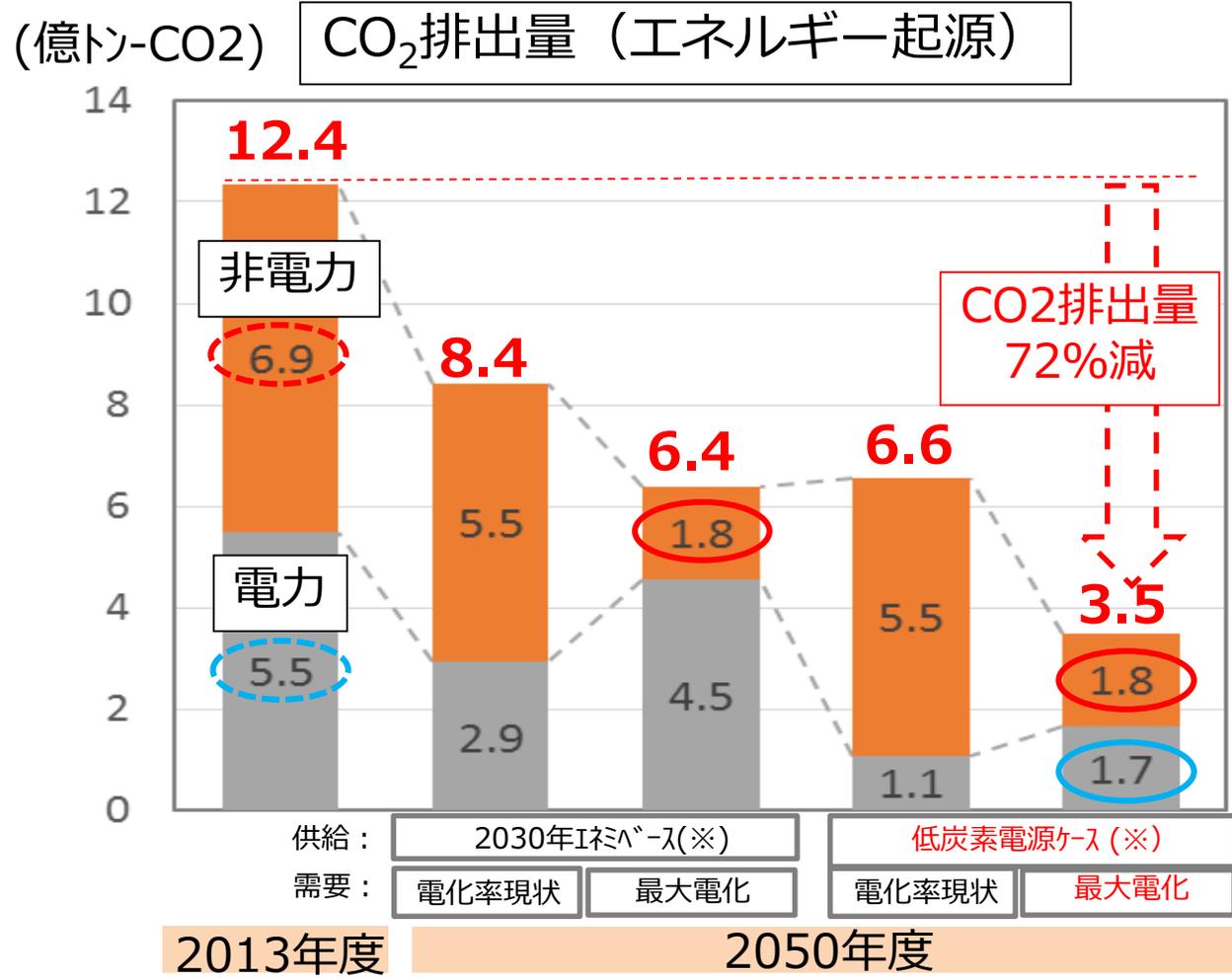


# 2050年までの需給シナリオ

電力需要（自家消費含む全国）



# 電化によるCO2排出量の削減ポテンシャル



※TRIにて試算。

(端数処理により合計値が合わない場合があります)

※電力消費には自家発電を含む。

※2030年ベース: 0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWh (使用端)にて算出。

※低炭素電源ケースの発電量構成: 再エネ+原子力(65%), 火力(35%、熱効率(代表値)50%)。

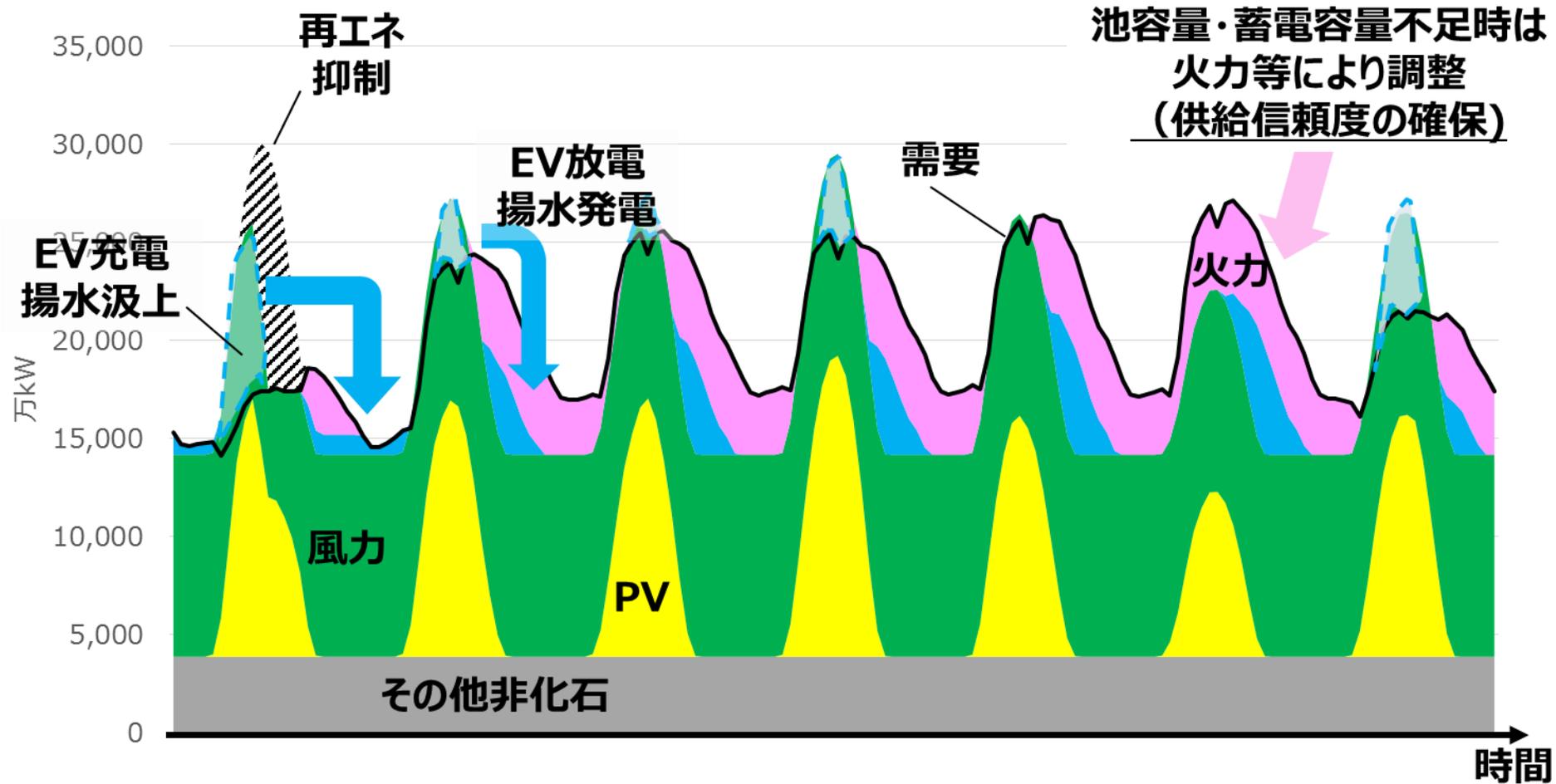
※2013年度の最終エネルギー消費は「エネルギー・経済統計要覧(2015)」から作成。CO<sub>2</sub>排出量は環境省公表値を引用。

「エネルギー産業の2050年: Utility 3.0へのゲームチェンジ」(日経出版)を元に作成



# 需給の時間的ミスマッチ（フレキシビリティ確保）

## 今世紀中頃の夏季・需給バランスイメージ



# 需給の空間的ミスマッチ

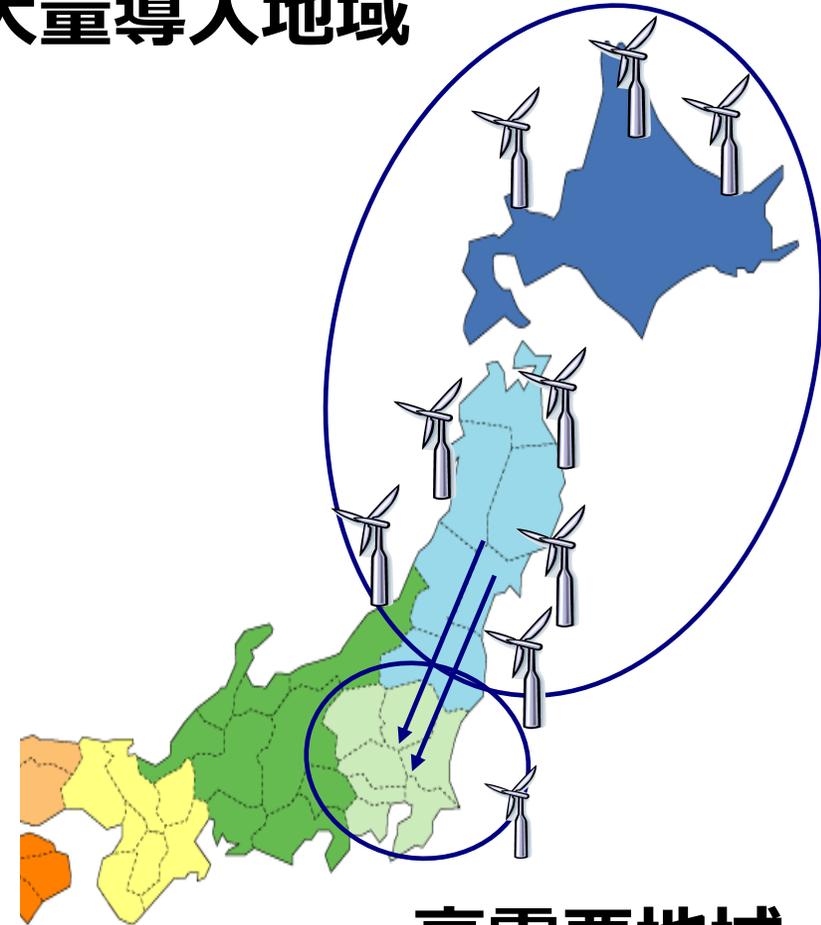
## ■ 系統利用の最適化

- ✓ コネクト&マネージ
- ✓ 地点別ダイナミック価格
- ✓ DER参加市場 など

## ■ 設備形成の最適化

- ✓ 脱炭素化を見据えたマスタープラン作り
- ✓ ステークホルダーとのコミュニケーション
- ✓ 次世代化投資の実行

大量導入地域



高需要地域

